

新野勝昭元会長を偲んで

新野元会長が8月4日午前6時33分、享年82歳にてご逝去されました。ここに謹んで故人の経歴を紹介しながら、その人柄を振り返らせていただきます。

新野さんは、1943年2月16日に実家である札幌市南9条西8丁目で誕生しました。1961年3月には、札幌市立啓北商業高等学校を卒業しましたが、在学中は柔道部に入って練習の日々を送っていたとのことです。練習中に頭を打ち気絶し気づいた時には夕方だったというエピソードを語っていました。

そして、同年4月に一般企業である大中物産株式会社に入社しました。その後、1966年2月には札幌地区労の書記として労働組合運動に人生をささげることとなります。

それからは、1976年11月 札幌地区中小企業労働組合連合会 書記長。1984年9月 札幌パートユニオン結成にかかわり、

1995年12月 連合北海道石狩地域協議会 事務局長。2000年2月 北海道季節労働組合札幌地区本部 事務局長。1998年11月 北海道地方労働委員会 労働者委員 就任。など数々の役職を歴任してきました。そして、2008年3月には、札幌パートユニオン会長に就任しました。

新野さんは、札幌地区労時代から一貫して現場の労働運動を支え続け、数々の労働組合を誕生させてきました。

生前の新野さんが常々話していた思い出に残る組織化をいくつか紹介いたします。

① オフィス・インフォメーションの闘い

札幌市役所の受付の女性臨時職員を組織化し、市長室前で連日の座り込み闘争の結果、組合員を全員正規職員へ登用させた闘い。

② 大蔵福祉会の闘い

職員の不当解雇を受け組織化し、解雇撤回を勝ち取り、更に法人を民主化させた闘い。

③ あかつき篠路保育園の闘い

理事長のワンマン経営に対し、職場の民主化を求めストライキを行い、実現させた闘い。

④ 元町杉の子保育園の闘い

臨時職員3名への不当解雇を組合員の団結でストライキにより撤回を勝ち取った闘い。

⑤ 日本酪農機械の闘い

それまで分裂していた第一組合と第二組合の共闘により大幅賃上げを勝ち取った闘い。この闘争がきっかけで二つの組合は統一された。



そして、1984年9月2日

札幌パートユニオンの結成 の結成準備会の一員として関わります。



左から2番目の黒縁メガネをかけているのが若き日の新野さん

2008年3月に開催された第24回定期総会にて会長に就任します。それから、2022年3月に開催された第38回定期総会まで現職で活躍してきました。引退されるまで、常に組合活動の中心にいて私たち組合員を見守ってくれていました。多分、今でも向こうの世界でも組織化に励んでいるでしょう！組織化し誰に何を求めるのかは解りませんが……。いずれにしても（新野さんの口癖）、今でも私たちの活動を見守ってくれていると信じて！！ご冥福をお祈りします（拝）

新野さんが会長を引退される際のあいさつ文

私は、第38回定期総会を以て札幌パートユニオン会長を退任致します。目に浮かぶ出来事は全て昨日のこのように鮮明です。皆さんとの活動が「真」の労働運動であることの証しです。

私は1943年2月に生まれ23歳で脱サラし労働組合に参加しました。60年安保や三池闘争に象徴される労働者の反権力の「熱」に引き込まれたのだと思います。札幌パートユニオンとの出会いは1984年になります。この年の9月2日に札幌パートユニオンが組合員20名で結成されました。事務所は狸小路の一角です。

結成準備から参加し2008年からは会長職を拝命しました。単独事務所を構えて多忙な相談業務に皆さんと一緒に取り組むことができました。組合員が168名に達したのはその成果です。

大変多くの相談者の方が事務所に訪れますが、労働法制や社会保障制度、福祉政策が変更される際には必ず相談者が増えます。

今、痛感するのは、悩み事の解決には「対話」と「仲間」が必要だということです。「政治」「組織」そして「行政」はその次というのが現実です。私たちが、相談者の「悩み」を解決しやすい「問題」としてかみ砕くことで「政治」「組織」そして「行政」は重い腰を上げます。

予想以上のスピードと規模で広がる格差、全ての権利を無にする戦争、そして全ての安寧を廃にする核に堂々と異を唱えられるのは、真の労働運動に参加するものです。真の労働運動に参加するものの権利を守れるのは真の労働組合です。札幌パートユニオンが吉崎新会長のもと、日本の真の労働組合として元気に活動されることを祈念申し上げ、退任の御礼とご挨拶とします。長い間お世話になりました。